

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学 校 名 岡 山 県 岡 山 市 立 平 島 小 学 校
(※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒709-0631

岡山県岡山市東区東平島1293

E-mail hirajimas@city-okayama.ed.jp

Website <http://www.city-okayama.ed.jp/~hirajimas>

幼児児童生徒数 男子 113 名 女子 116 名 合計 229 名

幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

(1) 1 年間の主な活動内容

本校では、地域の学習を通し、地域の課題について知るだけでなく、自分たちができることは何かを考え、社会の一員として持続可能で住みよい社会づくりに参画・貢献できる人づくりをめざしている。

「地域の歴史・文化体験プロジェクト」では、地域の伝統・文化のよさを感じ、次世代に伝えていこうとする態度を養う。

「地域の公共施設体験プロジェクト」では、公共施設等で働かれている方から話を聞いたりユニバーサルデザインの視点で地域について調べたりする。すべての人が幸せに生活できる地域および社会を築くために必要なことを考え、相手の思いを意識して行動しようとする態度を養う。

「地域から世界へ発進プロジェクト」では、地域の企業等について調べたり働かれている方々から話を聞いたりする。企業と住んでいる地域だけでなく、企業と世界の様々な地域とのかかわり方について考え、多様な価値観を認め尊重することができるようにする。これらを通し、つながりを尊重する態度や多面的総合的に考える力を育て、よりよい社会づくりに向けて行動することができる児童を育成する。

★「地域の歴史・文化体験プロジェクト」

○「見つめよう！私たちの地域」（6月実施）（6年）

「郷土の歴史を語る会」の方から地域の歴史を聞いた。地域の歴史について探求し、自分の意見を交えながら新聞にまとめた。（写真①）

- 「おとしよりとこうりゅうしよう」（1月実施）（1年）
地域の高齢者から、昔遊びを教えてもらい一緒に遊んだ。若い頃の自身の暮らしや地域の様子について話を聞いた。招待状やお礼の手紙などを協力し作成して手渡した。

★「地域の公共施設体験プロジェクト」

- 「まちをたんけんしよう」（10月実施）（2年）
地域観察を行った地区や通学路で、地域の施設等や危険箇所を探し、地図を作成した。作成した地図をもとに、同じ学年の児童に危険箇所等について紹介し、注意を呼びかけた。
- 「とびだせ平島たんけんたい」（11月実施）（3年）
地域の施設の中からコミュニティハウスやケアハウス等を訪問し、働いている方に地域の公共施設としての取組や思いなどについて話を聞いたりインタビューしたりし、調べたことをポスターや新聞にまとめた。
- 「心のバリアフリー」（11月実施）（4年）
ユニバーサルデザインの視点から、地域の道路・学校等を調査し、よいところや課題を見つけた。2年の「まちをたんけんしよう」で見つけた地域の危険箇所などを思い出しながら、ユニバーサルデザインの視点で、改善案や今自分ができることを位置付けたマップづくりをした。

★「地域から世界へ発信プロジェクト」

- 「世界に誇る made in japan」（12月実施）（5年）
地域の企業等で働かれている方々から、地域の清掃や祭りなど、企業の地域に向けた活動について話を聞いた。商品の原料調達や販売を通じた世界の様々な地域との関わりについて聞き、持続可能な社会に向けた企業のあり方について考え、疑問に思ったことを質問したり調べたりした。それらをまとめ、ポスターや新聞を作成して発信した。
（写真②）

- 「一人暮らしのお年寄りに手紙を書こう」（1月実施）（全学年）
一人暮らしをしているお年寄りに手紙を書く活動を通して、地域にいる人々とつながる体験を広げ、人を思いやる優しい気持ちを培う一助とした。（安心カプセルと一緒に届けられました。）



写真①



写真②

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特にありません

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

生活科および総合的な学習の時間の年間計画に、各学年とも1単元のESD関連学習を組み込んでいる。本校では地域学習を通して社会の一員としての役割を考えていこうとしている。そのため、地域に実際に出て活動することを重視しており、地域のあるコミュニティハウスや企業、および外部講師の方と打ち合わせをすることで有効な活動になるように計画している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

- ・ 学習を組む際の外部講師等の連絡先の共有化を図る。
- ・ これまでの学習の記録や資料などを保存している。
- ・ ESD 関連学習についての他校での実践資料収集および研修。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

ESD という概念について、まだまだ浸透していない実態があり、ユネスコスクール関連の行事なども紹介しているが、あまり関心は高くない。引き続き学校での取り組みを知らせていく必要がある。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

地域に根ざした教育の重要性を再認識し、体験的な活動の工夫を行うことができた。地域の方は大変協力的で、地域の方とのつながりが強まり、学習が深まった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)

(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

- ・ 「平島学区の歴史を語る会」の方を招き、6年生が地域の歴史を学んだ。
- ・ 地域の施設の中からコミュニティハウスやケアハウス等を訪問し、働いている方に地域の公共施設としての取組や思いなどについて話を聞いたリインタビューしたりし、調べたことをポスターや新聞にまとめた。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

特に行っておりません。

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

地域理解を中心に据えた学習を続けることで、地域に対する関心を深め、いろいろな形で地域に積極的に関わる児童の姿が見られるようになった。特に高学年においては、地域の伝統文化や歴史的施設に対する理解は深まった。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度の活動予定。

【1年】「おとしよりとこうりゅうしょう」（1月）

【2年】「まちをたんけんしょう」（10月）

【3年】「とびだせ平島たんけんたい」（11月）

【4年】「心のバリアフリー」（11月）

【5年】「世界に誇る made in japan」（11月）

農業体験活動（6月・11月）

【6年】「見つめよう！私たちの地域」（6月）

【全校】「一人暮らしのお年寄りに手紙を書こう」（1月）